

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 1 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成 2 7 年 6 月 2 日 (木) 午前 9 時 3 0 分～ 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	学習室 C		
出 席 委 員	大嶋郁子委員、柿原朋子委員、小宮山とみ子委員、本多詮明委員、森廣美委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主査、千賀義幸。永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会の報告 (5月28日開催)</p> <p>2 音楽鑑賞のつどいの企画案について</p> <p>3 各講座の報告と計画          [報告] 第 3 2 回貫井南センターまつり「琉球三線とおどり」          [計画] 高齢者学級「けやき学級」、成人学校「アコースティックギター弾き語り入門」、成人学校「植物観察 (八千穂高原)」、成人学校「江戸野菜に親しもう」、</p> <p>4 その他          ○小平市公民館運営審議会視察について</p> <p>次回の日程          平成 2 7 年 7 月 7 日 (火) 午後 1 時～ 学習室 C</p>		

# 審議経過（主な発言要旨等）

## 1 公民館運営審議会の報告（開催日：平成27年5月28日）

### （1）報告事項

#### ア 都公連委員部会委員部会、研修会について

第56回関東甲信越静公民館研究大会の事前研修として、ESD（持続可能な開発のための教育）についての職員研修を7月17日（金）午後2時から4時、国立市公民館で行なわれる予定。また、委員部会では委員研修を9月、翌年1月に開催予定。

#### イ 三者懇談会について

5月21日（木）に「生涯元気でいられる呼吸法」と題して講演が開催された。

#### ウ 「2015 青少年のための科学の祭典」について

7月31日までに出席申し込み、8月23日までに内容の報告となる。実施は次期公運審メンバーとなるが、昔遊びの科学を継承していただくことを基本とする。

#### エ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは第32回貫井南センターまつりを提出。貫井南は地域との繋がりがあるまつりとなっているが、子どもたちが少なかったのが少し気になったとの感想を頂いた。また、公民館イベント「琉球三線とおどり」について、多数の参加者あったことについて報告、記録としてビデオはなかったことは残念という意見を頂いた。

#### オ その他 なし

### （2）審議事項

#### ア 公民館事業の見直しについて

平成26年12月11日の公民館業務の見直しについての答申中、問題事項1から5について館長から説明を行なった。1の公民館運営の中長期計画の立案については、公民館の計画は、小金井市第4次基本計画、第3次行財政改革大綱、生涯学習推進計画があるが、今後の公民館について十分に時間をかけ、計画を立案する必要がある。2の今後の公民館事業運営委託の考え方の表明については、東センター委託に関する評価を踏まえ、将来的には他館に拡げていくことも視野に入れている。3の運営を委託するNPO法人の事業活動、決算報告の分析及び4の貫井北分館運営の更なる検証と分析については、決算報告については、NPOの監査も実施され、適正な運用がされたと聞いている。また、公民館として1年間の評価を行ない、NPO法人と意思疎通を図り、定期的な支援を行なう。5の東分館利用者や関係者への十分な主旨説明については、現段階では7回行なっている中で、メリットとして市民協働の拡大、図書館との連携における事業づくり、財政効果等を説明している。NPO法人の人材確保についても市からの協力、東センター事業の継続性については企画実行委員

の継続配置も行なう。以上のことから公運審に対し、8月からの東センター委託についての可否を問うたところ、了承の回答を得た。

イ 公民館事業の計画について

貫井南分館からは提出なし。

(3) その他 公運審向けの公民館手帳については7月に印刷を行なう。

次回の日程 7月23日(木) 午前10時～ 公民館本館

## 2 音楽鑑賞のつどいの企画案について

来年3月に行なう「スプリングコンサート」は、メンバーの方への事前交渉で出演が可能となったことから、小金井市在住の方を含むメンバーによるバイオリン(2台)、チェロ、ビオラによる四重奏を予定し、今後、実施日を3月13日(日)とし調整を行なう。午後1時30分を開演時間、1時間30分の演奏時間とする予定。

## 3 各講座の報告と計画

### 【報告】

○第32回貫井南センターまつり「琉球三線とおどり」

定員50人としていたが、参加者が111人とかつてないほどの盛況ぶりであった。椅子が足りず最後列は立ち見の状態となった。事前の電話による受付では75人で打ち止めたが当日、来館された方が多かった。応募者が多くなることは想定していたので、事前の申し込みは氏名、住所は聞かず人数だけの把握とした。当日は椅子の数を増やし、開場を早めることで混乱もなく終えることができた。来場者の約半数を地元の方、市外では長野、三重、神奈川等からも来場された方もいた。公民館ということからフラットな床での公演となったため、後ろの方は演者の全身を見ることができなかつたのが残念という感想をいただいた。このことは冒頭の紹介で触れておくべきことであった。

他に、今回のお茶席は先生が辞めたことから前回までの子どもたちのおもてなしではなく、ぬくい会(老人会)茶道部にお願いしの開催となった。完売となったことから次回もお願いできる見通しとなった。今回も地域の自治会の協力を得て、まつりの運営を円滑に行なうことができた。

### 【計画】

○高齢者学級「けやき学級」

5月13日(水)にオリエンテーション(開講式)を終え、6月3日(水)に野外学習「東京臨海広域防災公演&東京スカイツリー」の実施となる。急な連絡で1人減の40人(職員、企画実行委員、学級生)での行動となる。当日の天候は雨の予報から、東京スカイツリーでの行動に影響がでることも予想される。行動予定がない東京ソラマチでの買い物を希望する方も原則、団体行動を守ってもらうこととする。出発時間が早いことからスタッフの集合時間を午前7時20分とする。また、6月24日(水)に行なう班活動も行き先等も決定した。

#### ○成人学校「アコースティックギター弾き語り入門」

5月14日応募締め切りし、定員15人に対し、24人の応募があった。翌日、抽選を行い、受講者を決定した。受講者は講師の配慮から20人（男性5人、女性15人）とした。16歳の高校生から73歳まで幅広い構成で、平均年齢46.3歳（男性54.4歳、女性43.6歳）となった。事前の調査で弾き語りを行なってみたい曲と好きなアーティストは、国内・外のポップス系のアーティストの傾向が強かった。ギターを持っていない方へのギター貸し出し台数は12台となった。

#### ○成人学校「植物観察（八千穂高原）」

7月28日（火）の実施、実踏は6月30日（火）となる予定。市報7月1日号、月刊こうみんかん7月号で7月13日までに募集、応募多数の場合は7月14日（火）に抽選となる予定。

#### ○成人学校「江戸野菜に親しもう」

6月15日（月）、山梨県山梨市のくぼた園でサクランボ狩りを行なう予定。5月28日に実踏を行なったが、今年の生育は良くないとのことであった。フルーツ園で昼食をとるが、お弁当等の持ち込みも可能となっている。

### 4 その他

#### ○小平市公民館運営審議会視察について

6月9日（火）午後2時から4時、公民館貫井北分館学習室Bにおいて小平市公民館運営審議会の視察があり、小平市での企画実行委員制度導入に向けて企画実行委員の声を聞きたいことから、貫井南分館からは、柿原委員、小宮山委員、本多委員が出席予定。

次回の日程 7月7日（火）午後1時～ 学習室C